

2016 年 10 月 26 日

## 世界の子ども日本語ネットワーク推進 第 8 回「海外児童日本体験プログラム」 第 8 回「日本児童海外体験プログラム」 日本参加校決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 8 回「海外児童日本体験プログラム」、ならびに第 8 回「日本児童海外体験プログラム」に参加する日本校の決定について、本日、文部科学省 文部科学記者会にて発表しましたので、ここにご報告いたします。

➤ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、次の 3 校が本事業の参加校として選出されました。

日本参加校:	学校法人 加藤学園 加藤学園暁秀中学校	(静岡県)
	横浜市立城郷中学校	(神奈川県)
	さいたま市立美園中学校	(埼玉県)

### ■ 当事業の目的

日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

### ■ プログラム概要

「海外児童日本体験プログラム」は、海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本校の訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。

「日本児童海外体験プログラム」は、日本の中学生を海外に招待し、海外校の訪問や同世代の生徒との日本語での交流、訪問国の文化・社会体験などを行います。

### ■ スケジュール

「海外児童日本体験プログラム」 実施: 2017 年 4 月 13 日~4 月 27 日(予定)

「日本児童海外体験プログラム」 実施: 2017 年 7 月 21 日~7 月 31 日(予定)

事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970 年、株式会社博報堂の創業 75 周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011 年 4 月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェロシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

### ■ 本件に関するお問い合わせ先:

世界の子ども日本語ネットワーク推進(担当: 内海・福本・横山)

TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016

E-mail. [hakuho.gn@hakuhodo.co.jp](mailto:hakuho.gn@hakuhodo.co.jp)